

平成31年度 嶺北特別支援学校スクールプラン

[校訓]

なかよく たくましく ねばり強く

[学校教育目標](方針)

『心身の調和のとれた自立できる子どもの育成をめざす』

- ◇日常生活を豊かにする生活習慣と知識、技能を育てる。
- ◇健康と安全に心がけ、心身ともにたくましい子どもを育てる。
- ◇一人一人の個性やニーズに応じた教育を行い、自立できる子どもを育てる。
- ◇キャリア教育を通して、働く意欲を持ち、生きる喜びを知る子どもを育てる。

学校業務改善のための取組

- ・時間管理を意識した会議運営(会議時間の縮減を意識して議事を進行し、効率的に会議を行う。)

人権教育の推進

- ・いじめ防止の徹底と一人一人を大切にす指導の推進
- ・障害理解のための啓発と児童生徒の自己肯定感の育成

(目指す児童生徒像)

- 健康でたくましい子
- 自分らしく生きる子
- 仲良く助け合う子
- 喜んで地域で活動する子

重点目標

教育課程・学習指導

基本的生活習慣の確立、基礎的・基本的な知識・技能およびコミュニケーション能力の育成

小学部低学年	小学部高学年	中学部	高等部	訪問学級	寄宿舎
心身ともに安心できる教師の支援と環境設定、および一人一人の発達段階とニーズに応じた課題設定を行い、自ら人や物に関わる力を育てる授業を行う。	一人一人が安心して個に応じた課題に取り組める環境作りに努め、集団を意識しながら自ら参加しようとする力を育てる。	一人一人の発達段階やニーズに応じた環境設定や課題設定を行い、集団の中で役割を果たしたり、自ら協力したりする態度を育てる。	一人一人の社会参加を促すために、自ら働く意欲を育てる。	落ち着いて学習に取り組める環境や児童生徒との関係作りに努め、一人一人に応じた人や物の存在への気付きとそれらに関わろうとする気持ちを育てる。	寄宿舎での生活を通して、一人一人の自立する力を育てる。

健康・安全

児童生徒が心身ともに健康で安全な生活を送ることができるようにする。

生徒指導・進路指導

集団活動を通して社会性を育て、将来に向けての自立と社会参加を促す。

保護者・地域との連携

交流及び共同学習において、児童生徒が地域の中で人と関わりながら生き生きと活動できるように支援する。

具体的取組

a 児童の自ら人や物に関わる姿を引き出すための教師の支援(児童への働き掛けや関わり方、声掛けの仕方、環境設定)について教師間で検討し、共通理解を図る。
目標:教師間で検討したことを授業に取り入れる。
教職員の取組目標指数:十分取り入れることができた、おおむね取り入れることができた。80%以上

b 一人一人の発達段階や実態に基づいた目標を設定し、その目標を達成するための課題設定に取り組む。
目標:実態に沿った課題設定を行う。
教職員の取組目標指数:十分行なうことができた、おおむね行なうことができた。80%以上

具体的取組

a 児童の実態を正確に把握した上で「個別的教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成し、明確な目標を設定する。
目標:個に応じて設定した目標を達成するように取り組む。
教職員の取組目標指数:十分取り組むことができた、おおむね取り組むことができた。80%以上

b 集団に自ら参加しようとする意欲を引き出す指導の工夫に取り組む。
目標:集団への参加意欲を引き出す指導の工夫を行う。
教職員の取組目標指数:十分工夫することができた、おおむね工夫することができた。80%以上

具体的取組

a 生徒の発達段階やニーズを踏まえて「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成し、具体的な目標を設定する。
目標:個々に設定した目標を達成するように取り組む。
教職員の取組目標指数:十分取り組むことができた、おおむね取り組むことができた。80%以上

b 生徒の実態に応じ、体育大会や文化祭、「卒業生を送る会」などの行事に向け、集団の中での役割や協力を意識した授業を行う。
目標:個々の実態に則して、役割や協力を意識できる指導に取り組む。
教職員の取組目標指数:十分取り組むことができた、おおむね取り組むことができた。80%以上

具体的取組

a 卒業後に必要な力を身に付けられるよう、生徒一人一人に応じた適切な課題を設定し、指導を行う。
目標:生徒個々の実態や適性を正確に捉え、「個別的教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成し、これらに基づいて、自ら働く意欲を持たせる活動設定や支援をする。
教職員の取組目標指数:十分行なうことができた、おおむね行なうことができた。80%以上

b 生徒の働く活動について、活動内容や課題設定、生徒の様子について定期的な検討を行う。
目標:生徒の働く活動についての話し合いに参加し、検討したことを基に授業改善につなげる。
教職員の取組目標指数:十分つなげることができた、おおむねつなげることができた。80%以上

具体的取組

a 日々、一人一人の状態に応じた適切な授業時間を設定し、丁寧に関わる。
目標:朝の児童生徒の状態を確認した上で、病院側との連絡を行い、健康状態、配慮事項、医療スケジュールなどを把握する。必要に応じ、担当看護師からも情報を得て、授業時間を設定し、関わる。
教職員の取組目標指数:十分取り組むことができた、おおむね取り組むことができた。

b 人や物の存在に気付き関わろうとする学習内容や教材、支援の方法を考え実践する。
目標:児童生徒が興味を持つ授業内容や教材、支援について工夫する。
教職員の取組目標指数:十分工夫することができた、おおむね工夫することができた。

具体的取組

a 「個別の支援計画」に基づいて、寄宿舎生の自立を目指し、社会に適應する力を高めるように支援を行う。
目標:社会に適應する力を高めるように、保護者のニーズを踏まえ、「個別の支援計画」を立案し実践する。
寄宿舎指導員の取組目標指数:十分取り組むことができた、おおむね取り組むことができた。80%以上

b 日常生活の中で、基本的生活習慣が身に付くように、一人一人に応じた支援の工夫に取り組む。
目標:基本的生活習慣が身に付く支援の工夫をする。
寄宿舎指導員の取組目標指数:十分工夫することができた、おおむね工夫することができた。80%以上

具体的取組

a 保健指導
児童生徒の行動や体調を把握し、教職員間で共通理解を図るとともに、けがの防止や病気の予防に努める。
目標:一人一人の健康状態や行動を把握し、感染症など病気の予防やけがの防止に取り組む。
教職員の取組目標指数:十分取り組むことができた、おおむね取り組むことができた。80%以上

b 安全指導
警察と連携して教職員の防犯研修を行い、学校の安全確保に努める。
目標:研修を通して防犯意識を高める。
教職員の取組目標指数:十分高めることができた、おおむね高めることができた。80%以上

具体的取組

a 生徒指導(1)
体育大会や文化祭などの行事において、児童生徒の理解に努めるとともに、活動内容の創意工夫をして活動意欲を育てる。
目標:個々の児童生徒に応じた学校行事の取組を行う。
教職員の取組目標指数:十分取り組むことができた、おおむね取り組むことができた。80%以上

b 生徒指導(2)
児童生徒の人権意識や規範意識が高まるように心掛ける。
目標:日々児童生徒の不適切な行動や発言に気を配り、見聞きしたときは、迅速かつ適切に注意・指導を行う。
教職員の取組目標指数:十分取り組むことができた、おおむね取り組むことができた。80%以上

具体的取組

a 地域の人と関わる活動を計画し、実践する。
目標:居住地交流、学校間交流、地域交流、校外学習等の活動を通して、地域の人と関わる機会を設ける。
教職員の取組目標指数:十分設けることができた、おおむね設けることができた。80%以上

c 進路指導
将来の生活への関心・意欲が高まるように、進路に関する情報提供や進路学習の充実を図る。
目標:進路に関する情報提供や進路学習の充実に取り組む。
教職員の取組目標指数:十分取り組むことができた、おおむね取り組むことができた。80%以上